



深田 征三

## 県道にバイパスを



いつ、改良できるか（菅尾方面）

合併支援プランによる都道府県道認定の要件緩和支援策を利用し、県道百枝・浅瀬・野津線の路線変更を県と交渉すべき。

合併支援プランによる都道府県道認定の要件緩和支援策を利用し、県道百枝・浅瀬・野津線の路線変更を

**国民健康保険・老人医療費・介護保険特別会計の低減化策**

本市の異常とも言える介護給付費、老人医療費の増加の原因、現行制度事業の総括を踏まえずに、安直に市民に負担を転嫁する姿勢は許されないが。

県との協議では、現時点での路線変更は困難であるが、質問の要旨に沿つて今後最大限の努力を重ねたい。

答弁 市長

市道宇対瀬線の整備予定は。

補正予算で舗装改修費を計上、本年度実施とします。

答弁 市長

医療費適正化事業で、重複、多受診の防止、レセプト点検、保健士の訪問指導事業、疾病予防事業による検診で早期発見、早期治療に努め、医療費の増加を防いだが今後さらに努力したい。

介護保険では、要介護認

答弁 市長

環境整備などの状況をみ

均衡のある発展に向けて

浅野 益美



## コミュニケーションバス



オッ！ 危ない！（清掃センターへの道）

質問

朝地町からおがた総合病院へ直行できないか。

答弁 企画部長

朝地町からの外来患者数は9%と緒方町に次いで高い利用率です。陸運事務所

※その他

「新市ブランドの生産、販売拡大」

質問

清掃センターへ通じる道路の改善は。

答弁 建設部長

清掃センター道については、工事用地の同意が得られておりません。

## どうする危険道路

は、「バス会社との競合がないので、市の考えを尊重する」と回答がありましたので可能だと思います。

定者数の推移は、平成12年度に対し、16年度は約30%の増、給付費は12年度決算に対し、16年度決算は約50%増加している。これまで各種介護予防事業を実施してきたが改善はできなかつた。

今回の制度改正で、予防重視型システムへの転換を図り、成功実例など実態把握に努め、給付費の伸びを抑えたい。

財政状況を考えますと早急な対応は難しいが、整備において、総合的且つ計画的な対策を実施する必要があると考えております。

短期的な事業となる幅員狭小路線や急カーブの箇所の改修などについては、維持補修工事で対応するなど新市の均衡を図りながら、利便性の高い行政サービスを行っていきます。

## どうする危険道路